

Game Report

開催場所：九州国際大学 平野記念館

試合区分：第 23 回全九州大学バスケットボールリーグ戦 男子 1 部

試合期日：2016 年 10 月 2 日 (日)

試合時間：14:00～

主審：甲木 善徳

副審：柿原 実

| | | | | | | |
|--------|---------|----|-------|----|---------|--------|
| 鹿屋体育大学 | ○ 87 | 25 | —1st— | 19 | ● 78 | 九州国際大学 |
| | | 23 | —2nd— | 18 | | |
| | | 19 | —3rd— | 22 | | |
| | | 20 | —4th— | 19 | | |

第 1 ピリオド

九国大は素早いパス回しで、鹿体大のディフェンスを翻弄する。対する鹿体大は、# 4 3 横川が鋭いドライブで連続してシュートを決める。その後、九国大は# 1 4 江崎を起点に展開し、ここから得点を伸ばしていく。鹿体大# 1 7 土器手が連続でシュートを決め、勢いに乗るかと思われたが、九国大# 1 4 江崎のバスケットカウントを決め、主導権を譲らない。終了間際、鹿体大# 2 9 宮崎が 3 P シュートを決め、25-19、鹿体大リードで第 1 ピリオドを終える。

第 2 ピリオド

序盤から、九国大# 7 金田が巧みな切り返しでジャンプシュートを決めると、すぐさま鹿体大# 0 池田が 1 対 1 でやり返す。鹿体大# 2 9 宮崎のアシストから# 2 5 石山がレイアップを決め、点差が 2 桁になったところで九国大はタイムアウトを請求。タイムアウト明け、九国大# 3 福山がシュートを決めるが、鹿体大# 2 9 宮崎のアシストが冴える。九国大# 1 5 木下がゴール下で奮闘するが、シュートはリングに嫌われる。終盤、ルーズボールを懸命に追いかける九国大は、# 4 岩田のスティールからシュートを冷静に沈め、48-37、鹿体大リードのまま前半を折り返す。

第 3 ピリオド

九国大# 1 5 木下がオフェンスリバウンドで粘り、# 7 金田のシュートに繋げる。鹿体大は# 6 森山のシュートが決まるとオールコートでディフェンスを展開する。それが功を奏し、スティールから得点し、九国大はたまたまタイムアウトを請求。タイムアウト後、九国大# 1 4 江崎が果敢にドライブで攻め入り、2 人抜きを見せる等、チャンスメイクをする。鹿体大は# 0 池田が終了間際にレイアップ決め、67-59、鹿体大リードで第 3 ピリオドを終える。

第 4 ピリオド

鹿体大# 1 7 土器手のフェイダウェイシュートで始まった第 4 ピリオド。鹿体大は# 1 7 土器手を中心に積極的に攻撃を仕掛けるが、九国大の厳しいディフェンスに阻まれる。ディフェンスで勢いに乗った九国大は、# 1 5 木下のゴール下、# 1 4 江崎が豪快なドライブで、じわじわと点差を縮める。鹿体大は冷静に# 6 森山がジャンプシュートを決め、九国大の追撃から逃れようとする。九国大は最後まで諦めず、攻撃の手を緩めなかったが、87-78 で、鹿体大が有終の美を飾った。